

地方創生に資する金融機関等の「特徴的な取組事例」を受賞

当行グループ(株式会社地域商社こうち)における、こうち酒米精米工場の再稼働に向けた取り組みが評価され、内閣官房 地域未来戦略本部事務局が公表する「地方創生に資する金融機関等の特徴的な取組事例」に選定され、3月13日に地方創生担当大臣表彰を受賞しました。

【取り組みの概要】

当行グループは、地域の主要な観光資源で重要な地域産業でもある土佐酒の生産に使用する酒米の精米体制の安定化などを目的として、高知県・高知県酒造協同組合・高知県農業協同組合と連携し、閉鎖されていた県内唯一の酒米精米工場を再稼働させ、さらなる品質の向上と、精米・醸造・販売までを一体として支える「オール高知」の体制構築を推進。



この受賞を受け、今後も土佐酒を応援する取り組みの一環として、高知県内の19酒蔵が「高知酵母」と「高知酒米」にこだわって造り上げた土佐酒の試飲販売イベントを4月から5月にかけて開催いたしました。

外国人材の活用をサポート

高知県内企業の外国人材受入れや定着化に向けた支援を強化するため、高知県中小企業団体中央会と外国人材支援に関する連携協定を締結いたしました。

人口の減少に伴う労働力不足もあって、外国人材の採用を検討する企業が増加傾向にあるものの、受入れに至る企業は少ない状況にあることから、相互に連携を図りながら外国人材に関する情報発信を強化することで、外国人材の受入れ促進と定着化を支援してまいります。



高知BCP・BCMセミナーを共催

大規模災害発生時における自社のBCP機能の有効性を再確認するとともに、初動対応から事業継続までをひとつの流れとして考えていただくことを目的としたBCP・BCMセミナーを、東京海上日動火災保険株式会社及び高知県・高知市等との共催により本年3月に開催いたしました。

当日は地元企業80社の経営者や防災担当者にご参加いただき、経営者目線での実践的なBCPを紹介したほか、河合頭取から銀行員の視点を踏まえたBCPへの取り組み等について紹介いたしました。

